



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成28年2月9日

上場会社名 株式会社 大谷工業

上場取引所 東

コード番号 5939 URL http://www.otanikogyo.com

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 芝崎 安宏

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理グループマネージャー (氏名) 阿部 昇 TEL 03-3494-3731

四半期報告書提出予定日 平成28年2月9日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の業績（平成27年4月1日～平成27年12月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	4,338	7.0	293	40.2	305	44.0	216	13.6
27年3月期第3四半期	4,054	△2.4	209	△9.9	212	△20.0	190	17.1

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	24.66	-
27年3月期第3四半期	21.70	-

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	5,061	2,403	47.5
27年3月期	4,643	2,202	47.4

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 2,403百万円 27年3月期 2,202百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	-	-	-	2.5	2.5
28年3月期	-	-	-	-	-
28年3月期（予想）	-	-	-	2.5	2.5

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,700	4.6	330	11.7	350	20.5	220	△2.0	25.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	28年3月期3Q	8,800,000株	27年3月期	8,800,000株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	7,025株	27年3月期	7,025株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	28年3月期3Q	8,792,975株	27年3月期3Q	8,792,975株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
5. 補足情報	9
(1) セグメント及び品目別売上高明細、受注高及び受注残高	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国の経済は、アジア新興国等の景気が下振れし我が国の景気が下押しされるリスクはありますが、雇用情勢や企業収益の改善が続き、緩やかな回復基調が続いております。電力業界においては平成28年4月より始まる一般家庭向けの電力料金の全面自由化により、新規参入者を交えた競争激化が見込まれること、また平成32年には発送電分離が迫るなど業界の地殻変動は避けられない状況です。

当社はこのような状況の中、各事業で拡販に努め当第3四半期累計期間の売上高は4,338百万円と前年同四半期比283百万円(7.0%)の増加となりました。利益面につきましても、売上総利益が996百万円と前年同四半期比97百万円(10.9%)の増加、営業利益は293百万円と前年同四半期比84百万円(40.2%)の増加、経常利益は305百万円と前年同四半期比93百万円(44.0%)の増加、四半期純利益は216百万円と前年同四半期比25百万円(13.6%)の増加となり、増収増益の決算となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 電力通信部門

電力通信部門においては、売上高・利益ともに増加しました。

しかし電力業界では依然として設備抑制傾向が続いており、当社の関連する配電部門は工事会社の人材・機材の不足などに伴い進捗が遅れ、架線金物の出荷も低調に推移しております。また鋸螺関係では通信関係の出荷は順調に推移しておりますが、同業者向けの出荷が伸び悩む厳しい状況となっております。

一方、鉄塔・鉄構については、電力向け的大型鉄塔の新設・改造工事の増加、太陽光架台の受注が好調なこともあり、売上高・利益ともに増加しました。

この結果、売上高は3,182百万円と前年同四半期比164百万円(5.4%)の増加、セグメント利益は438百万円と前年同四半期比78百万円(21.9%)の増加となりました。

② 建材部門

建材部門においては、東京オリンピック開催に向けたインフラ整備や都市再開発の動きが顕在化し始め当社の関連する再開発案件や大型物流・商業施設の施工も順調に進んでおります。また関西・九州地区でも拡販に注力しています。

この結果、売上高は1,156百万円と前年同四半期比119百万円(11.5%)の増加、セグメント利益は125百万円と前年同四半期比27百万円(27.5%)の増加となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

総資産は、前事業年度末に比べ417百万円増加し5,061百万円となりました。これは、主に現金及び預金351百万円、売上債権119百万円の増加と、有形及び無形固定資産69百万円の減少によるものです。

(負債)

負債は、前事業年度末に比べ217百万円増加し2,657百万円となりました。これは、主に仕入債務328百万円、未払法人税等66百万円の増加と、設備関係未払金の減少168百万円によるものです。

(純資産)

純資産は、前事業年度末に比べ200百万円増加し2,403百万円となりました。これは、主に四半期純利益を216百万円計上したことによる増加と、配当金21百万円を支払ったことによる減少です。この結果、有利子負債比率(D/Eレシオ)は0.2倍と良好な水準にあります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の業績予想につきましては、平成27年10月20日に発表しました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	839,831	1,190,854
受取手形及び売掛金	1,392,343	1,516,150
電子記録債権	92,119	87,416
商品及び製品	438,429	440,392
仕掛品	324,068	346,262
原材料及び貯蔵品	169,612	172,617
繰延税金資産	43,327	27,664
その他	24,280	14,934
貸倒引当金	△297	—
流動資産合計	3,323,714	3,796,294
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	204,700	192,879
機械及び装置(純額)	546,032	494,400
土地	253,853	253,853
リース資産(純額)	2,881	2,227
その他(純額)	61,992	77,133
有形固定資産合計	1,069,460	1,020,494
無形固定資産	104,634	84,427
投資その他の資産		
投資有価証券	96,814	106,607
その他	49,070	53,728
貸倒引当金	△1	—
投資その他の資産合計	145,884	160,336
固定資産合計	1,319,979	1,265,258
資産合計	4,643,694	5,061,552

(単位:千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	509,497	759,502
電子記録債務	475,326	554,152
短期借入金	300,000	300,000
設備関係支払手形	10,260	27,864
設備関係未払金	157,414	53,599
未払費用	162,702	140,573
未払法人税等	962	67,148
その他	96,755	106,406
流動負債合計	1,712,918	2,009,246
固定負債		
長期設備関係未払金	103,872	39,049
退職給付引当金	438,614	440,266
役員退職慰労引当金	44,766	43,890
リース債務	52,280	45,960
長期預り保証金	77,029	73,504
その他	11,262	5,975
固定負債合計	727,824	648,645
負債合計	2,440,743	2,657,891
純資産の部		
株主資本		
資本金	655,200	655,200
資本剰余金	221,972	221,972
利益剰余金	1,312,092	1,506,933
自己株式	△1,423	△1,423
株主資本合計	2,187,841	2,382,682
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	15,108	20,978
評価・換算差額等合計	15,108	20,978
純資産合計	2,202,950	2,403,660
負債純資産合計	4,643,694	5,061,552

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	4,054,749	4,338,713
売上原価	3,155,420	3,341,736
売上総利益	899,329	996,977
販売費及び一般管理費	689,949	703,431
営業利益	209,379	293,545
営業外収益		
受取利息	154	117
受取配当金	2,689	2,683
受取保険金	—	10,000
不動産賃貸料	5,659	4,342
雑収入	5,282	4,285
営業外収益合計	13,786	21,428
営業外費用		
支払利息	5,380	5,433
不動産賃貸費用	5,402	3,393
雑損失	75	394
営業外費用合計	10,859	9,222
経常利益	212,306	305,752
特別利益		
固定資産売却益	4,452	—
保険解約返戻金	19,386	—
特別利益合計	23,838	—
特別損失		
固定資産除却損	4,269	1,633
特別損失合計	4,269	1,633
税引前四半期純利益	231,874	304,118
法人税、住民税及び事業税	1,139	83,468
法人税等調整額	39,908	3,826
法人税等合計	41,048	87,295
四半期純利益	190,826	216,823

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	231,874	304,118
減価償却費	132,642	153,145
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△7	△298
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△7,122	1,652
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△6,294	△876
受取利息及び受取配当金	△2,844	△2,800
支払利息	5,380	5,433
受取保険金	-	△10,000
有形固定資産除売却損益(△は益)	△182	1,633
保険解約返戻金	△19,386	-
売上債権の増減額(△は増加)	35,967	△119,104
たな卸資産の増減額(△は増加)	△127,323	△27,162
仕入債務の増減額(△は減少)	30,292	328,831
その他	△5,088	△16,596
小計	267,909	617,975
利息及び配当金の受取額	2,850	2,800
利息の支払額	△4,776	△4,827
保険金の受取額	-	10,000
法人税等の支払額	△136,291	△21,573
法人税等の還付額	-	11,303
営業活動によるキャッシュ・フロー	129,691	615,678
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△148,399	△169,005
有形固定資産の売却による収入	217,015	-
投資有価証券の取得による支出	△1,122	△1,154
出資金の払込による支出	△39	-
貸付金の回収による収入	1,798	1,829
預り保証金の返還による支出	△2,865	△12,430
預り保証金の受入による収入	5,166	8,906
保険積立金の解約による収入	43,260	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	114,813	△171,855
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△21,825	△21,835
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△1,067	△6,460
割賦債務の返済による支出	△29,770	△64,504
財務活動によるキャッシュ・フロー	△52,663	△92,799
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	191,841	351,023
現金及び現金同等物の期首残高	764,895	839,831
現金及び現金同等物の四半期末残高	956,736	1,190,854

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	電力通信部門	建材部門	合計
売上高			
外部顧客への売上高	3,017,997	1,036,751	4,054,749
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	3,017,997	1,036,751	4,054,749
セグメント利益	359,790	98,374	458,164

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	458,164
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△248,785
四半期損益計算書の営業利益	209,379

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第3四半期累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	電力通信部門	建材部門	合計
売上高			
外部顧客への売上高	3,182,440	1,156,273	4,338,713
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	3,182,440	1,156,273	4,338,713
セグメント利益	438,453	125,432	563,886

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	563,886
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△270,341
四半期損益計算書の営業利益	293,545

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

5. 補足情報

(1) セグメント及び品目別売上高明細、受注高及び受注残高

セグメント及び品目別売上高

(単位：千円)

セグメント及び品目		当第3四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	前第3四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	増 減	
				金額	率(%)
電力通信部門	架線金物	2,256,968	2,301,037	△44,069	△1.9
	鉄塔・鉄構	836,651	621,979	214,671	34.5
	その他	88,821	92,121	△3,300	△3.6
	計	3,182,440	3,015,138	167,301	5.5
建材部門	スタッド	1,137,550	1,024,380	113,169	11.0
	その他	18,722	12,936	5,786	44.7
	計	1,156,273	1,037,317	118,956	11.5
合計		4,338,713	4,052,455	286,258	7.1

セグメント及び品目別受注高

(単位：千円)

セグメント及び品目		当第3四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	前第3四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
鉄塔・鉄構	853,899	674,572	
その他	93,733	95,461	
計	3,229,471	3,092,106	
建材部門	スタッド	1,135,051	984,786
	その他	18,722	12,936
	計	1,153,774	997,723
合計		4,383,246	4,089,829

(注) 金額は販売予定価格によっており、消費税等は含んでおりません。

セグメント及び品目別受注残高

(単位：千円)

セグメント及び品目		当第3四半期会計期間末 (平成27年12月31日現在)	前第3四半期会計期間末 (平成26年12月31日現在)
鉄塔・鉄構	396,224	203,606	
その他	5,736	4,924	
計	561,680	368,494	
建材部門	スタッド	341,275	315,092
	その他	—	—
	計	341,275	315,092
合計		902,955	683,587

(注) 金額は販売予定価格によっており、消費税等は含んでおりません。